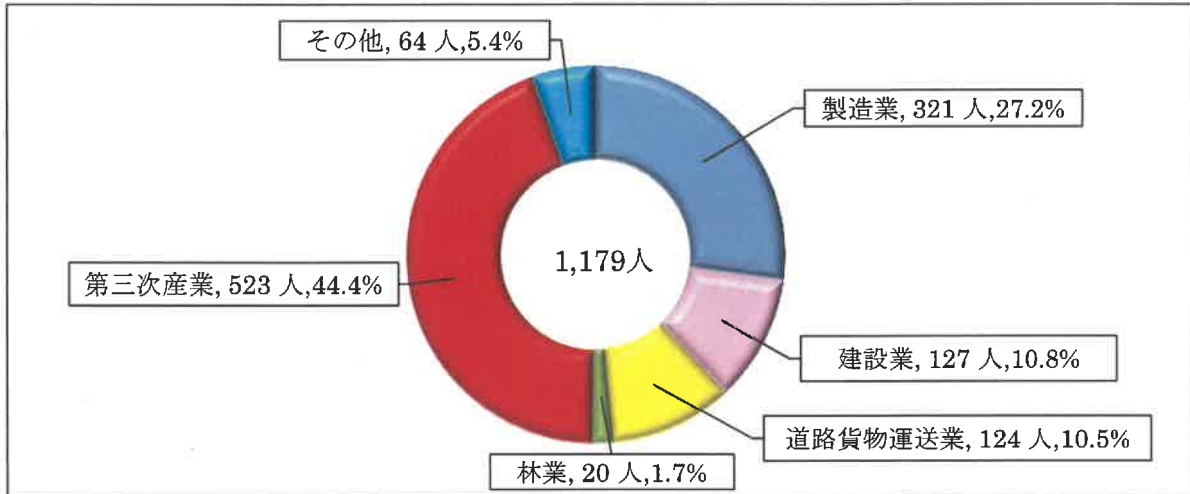


令和6年愛媛県内の労働災害（休業4日以上）発生状況

(令和6年10月末現在)

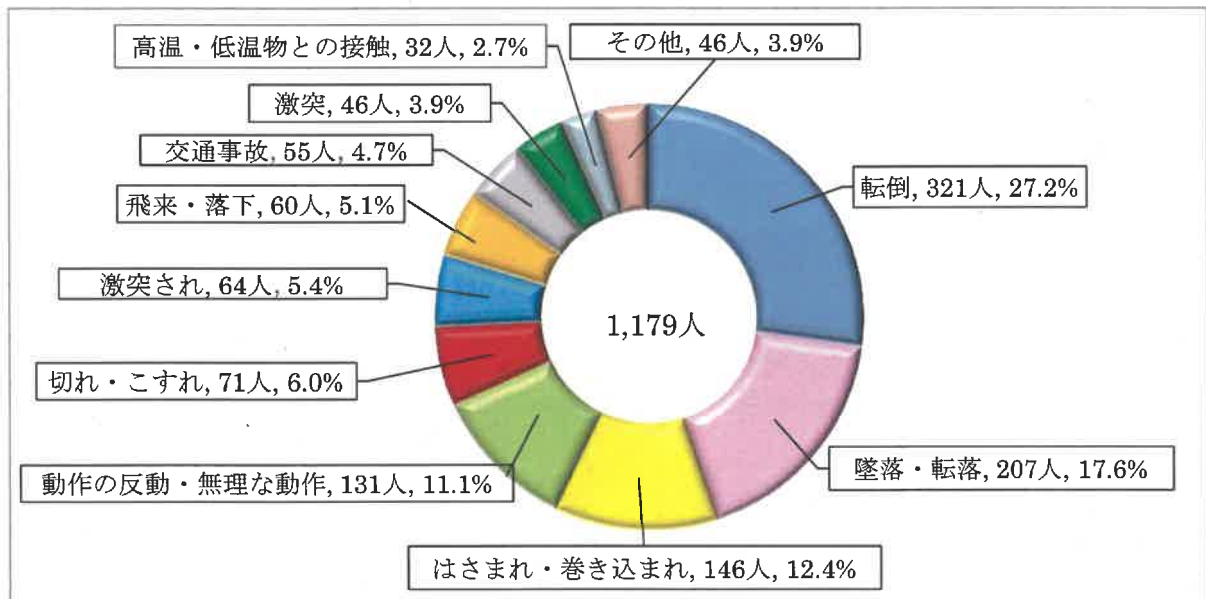
愛媛労働局

1 業種別死傷災害発生状況



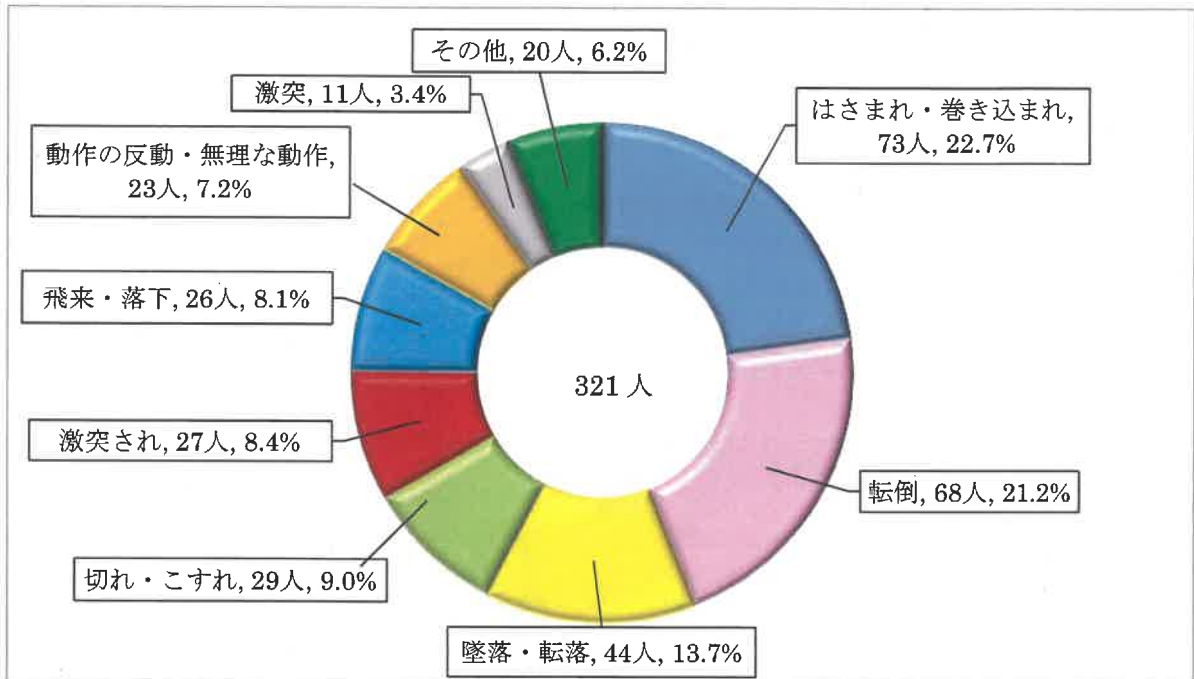
・「第三次産業」とは、「商業」、「金融広告業」、「映画・演劇業」、「通信業」、「教育研究」、「保健衛生業」、「接客娯楽業」、「清掃と畜業」、「官公署」、「その他の事業」のことであり、全労働災害の44.4%を占めた。

2 全業種における事故の型別死傷災害発生状況



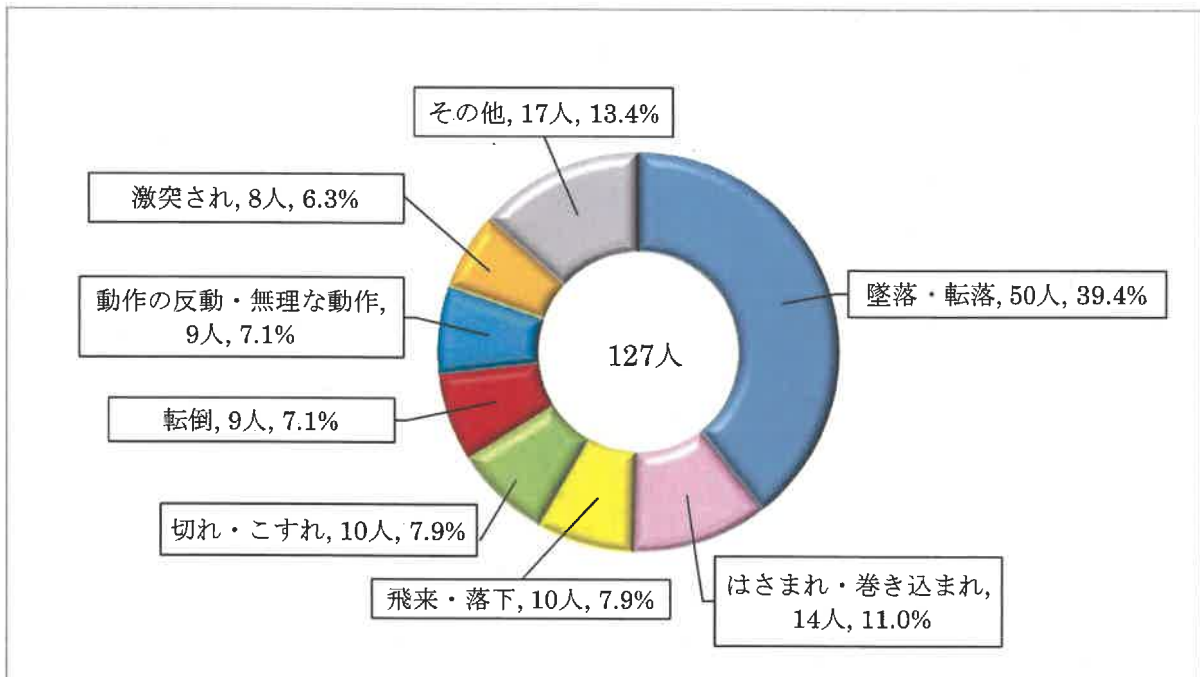
・労働者の行動に起因する災害（「転倒」、「動作の反動、無理な動作」）が、労働災害全体の3分の1以上を占めた(38.3%)

3 製造業における事故の型別死傷災害発生状況



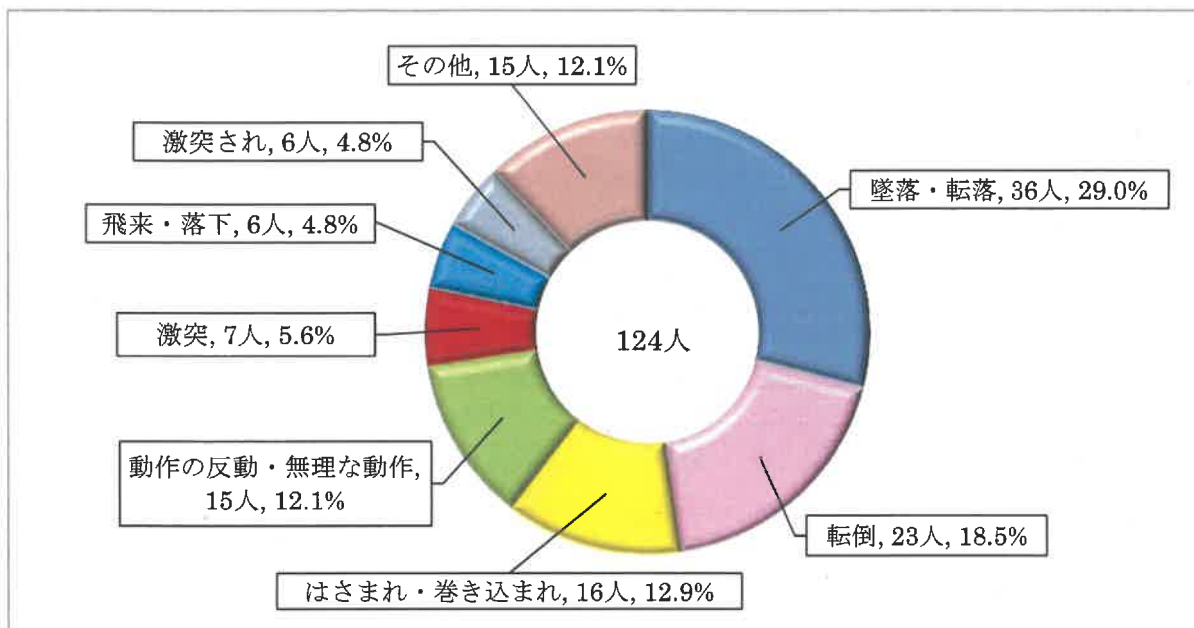
・「はさまれ・巻き込まれ」、「転倒」、「墜落・転落」の3事故の型が、製造業全体の約6割を占めた。

4 建設業における事故の型別死傷災害発生状況



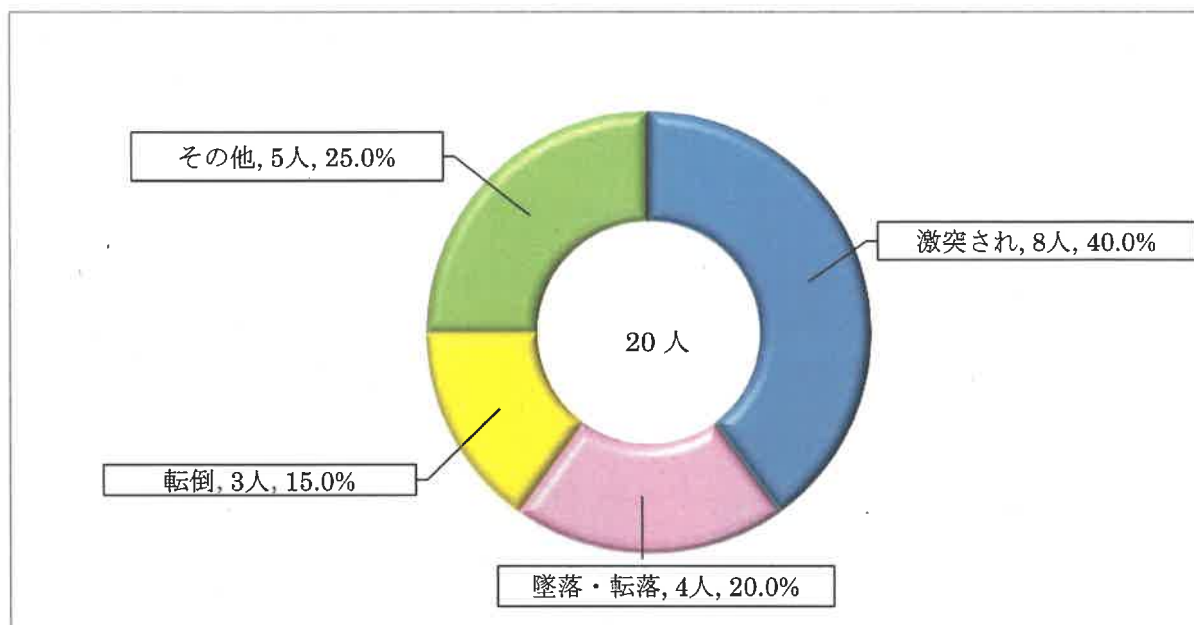
・「墜落・転落」による災害が、建設業全体の約4割を占めた。

5 道路貨物運送業における事故の型別死傷災害発生状況



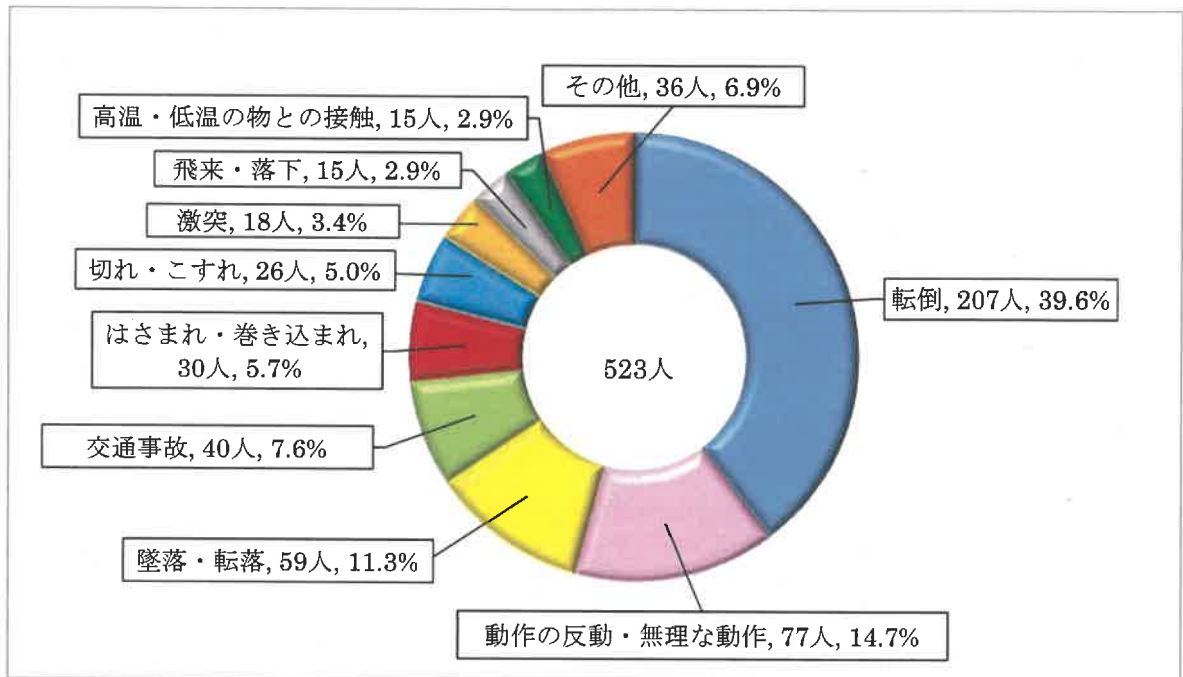
・「墜落・転落」による災害が、道路貨物運送業全体の約3割を占めた。

6 林業における事故の型別死傷災害発生状況



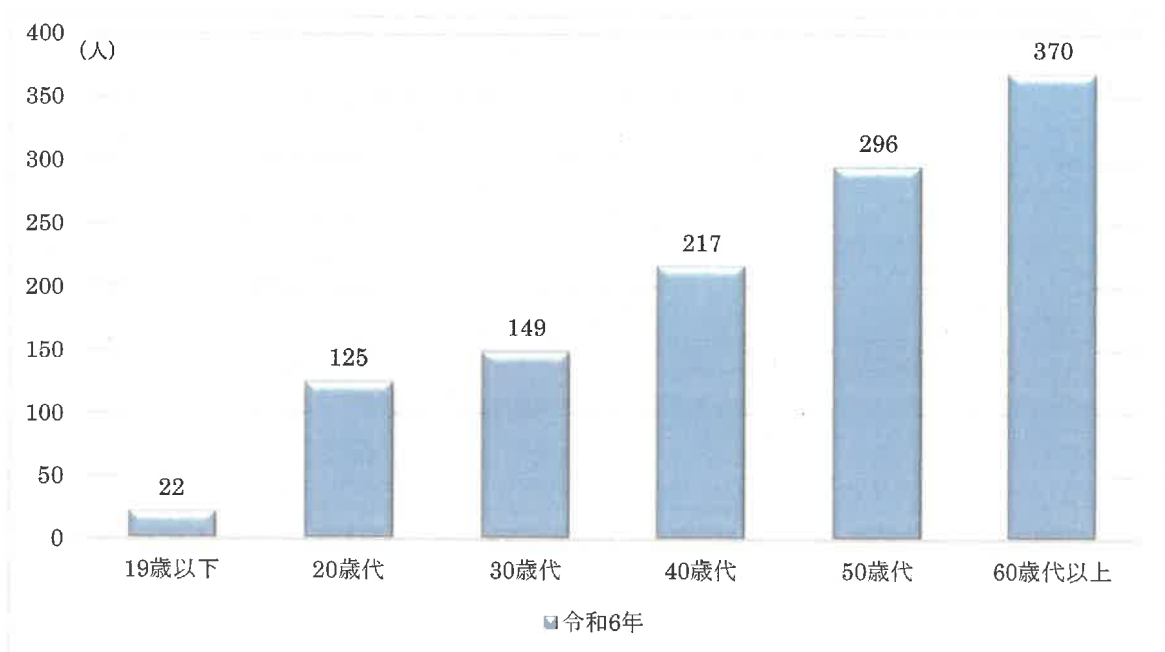
・「激突され」による災害が、林業全体の約4割を占めた。

7 第三次産業における事故の型別死傷災害発生状況



・労働者の行動に起因する災害（「転倒」、「動作の反動・無理な動作」）が、第三次産業全体の半数以上を占めた。

8 年齢階層別の死傷災害発生状況



- ・60歳以上の年齢階層が最も多かった。
- ・50歳以上の年齢階層が全体の半数以上(56.5%)を占めた。